



2018年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年4月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セプテーニ・ホールディングス

コード番号 4293 URL <https://www.septeni-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 グループ社長執行役員 (氏名) 佐藤 光紀

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員 (氏名) 唐木 信太郎 TEL 03-6857-7258

四半期報告書提出予定日 2018年4月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・報道関係者向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年9月期第2四半期の連結業績（2017年10月1日～2018年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		Non-GAAP営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第2四半期	7,976	9.1	1,009	△20.6	1,018	△24.2	1,221	△1.1	753	△56.7	754	△56.8
2017年9月期第2四半期	7,309	6.5	1,272	△38.7	1,343	△35.5	1,235	△41.8	1,739	33.3	1,743	29.8

(注) Non-GAAP営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第2四半期	5.96	5.94
2017年9月期第2四半期	13.61	13.53

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2018年9月期第2四半期	32,630	15,424	15,366	47.1
2017年9月期	32,929	15,224	15,172	46.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期	—	—	—	3.20	3.20
2018年9月期	—	—	—	—	—
2018年9月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2018年9月期の連結業績予想（2017年10月1日～2018年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	収益		Non-GAAP営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,376	11.4	1,718	△26.1	1,204	△45.6	9.52

(注) 連結業績予想に関する詳細は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年9月期2Q	138,856,500株	2017年9月期	138,819,000株
② 期末自己株式数	2018年9月期2Q	12,463,355株	2017年9月期	12,463,355株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年9月期2Q	126,368,766株	2017年9月期2Q	128,101,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(2) 決算補足説明資料の入手方法

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ウェブサイトに掲載しております。また、決算説明会の動画等については、後日当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

・2018年4月26日（木）・・・機関投資家・アナリスト・報道関係者向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結純損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
①継続企業の前提に関する注記	10
②会計方針の変更	10
③セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下「当四半期」)は、主力のネットマーケティング事業において、国内・海外ともに堅調に推移いたしました。一方、当社グループは、2017年10月より人事制度を改定し、人材投資を積極的に行っていることから人件費が前年同四半期比で増加しております。さらに、当四半期では、本社事務所の増床やリモートワーク環境整備に関連した費用等が発生し、販売管理費が前年同四半期比で増加しております。

これらの結果、収益は7,976百万円(前年同四半期比9.1%増)、営業利益は1,009百万円(前年同四半期比20.6%減)、Non-GAAP営業利益は1,018百万円(前年同四半期比24.2%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は754百万円(前年同四半期比56.8%減)となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、2018年9月期より、各報告セグメントにおける経営の実態をより適切に反映するため、各報告セグメントに配賦していた持株会社運営に係る費用は、各報告セグメントに配賦しない方法に変更しております。当該内容の詳細につきましては、「2.要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項③セグメント情報」をご参照ください。

下記の前年同四半期比較については、変更後の前年同四半期実績をもとに算出しております。

① ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを企業向けに展開しております。具体的には、スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、自社サービスとしてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等のマーケティングプラットフォームの運営を手がけております。

現在、国内市場においては、スマートフォン向け運用型広告を中心とするネット広告市場が拡大を続けております。当社グループの国内事業では、スマートフォン広告、とりわけソーシャルメディアを中心に取扱高が伸長いたしました。中でも動画広告需要は、従来テレビCMを活用してきた広告主にとどまることなく裾野が広がり始め、活況を呈しております。これに対応し、当社グループでは動画広告の制作体制を強化してまいりました。また、海外においては、特にアジア圏にて収益が順調に拡大し、ネットマーケティング事業に占める海外収益比率は14.8%と過去最高を更新しております。

これらの結果、収益は7,500百万円(前年同四半期比7.8%増)、Non-GAAP営業利益は2,652百万円(前年同四半期比12.7%減)となりました。

② メディアコンテンツ事業

「マンガコンテンツ事業」では、自社IP(知的財産)の企画・開発を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を自社メディアとして運営しております。その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用プラットフォーム事業」、「社会貢献プラットフォーム事業」、「医療プラットフォーム事業」等を展開しております。

当四半期のマンガコンテンツ事業は、マンガアプリ「GANMA!」のメディアとしての規模拡大や価値向上を目的とし、前四半期に引き続き継続的にプロモーション投資を実行してまいりました。その結果、2018年3月にはその累計ダウンロード数が991万となりました。そして、2018年4月12日には、累計1,000万ダウンロードを達成し、着実にそのユーザ数を伸長させております。並行して、ユーザのロイヤリティ醸成に努め、コンテンツ強化に対する投資にも積極的に取り組んでまいりました。また、「GANMA!」に掲載される広告の販売も順調に推移いたしました。中でもブランド広告キャンペーンの開拓を積極的に推進したことにより、広告収益を中心とするアプリ収益は前年同四半期比36.6%増に拡大いたしました。

これらの結果、収益は629百万円(前年同四半期比27.1%増)、Non-GAAP営業損失は608百万円(前年同四半期は754百万円のNon-GAAP営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期の資産は、前連結会計年度に比べて、299百万円減少し、32,630百万円となりました。これは主に、営業債権が516百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が824百万円及び持分法で会計処理されている投資が221百万円減少したことによるものであります。なお、持分法で会計処理されている投資の減少は主に、当社が保有するアクセルマーク株式を一部売却したことによるものであります。

当四半期の負債は、前連結会計年度に比べて499百万円減少し、17,206百万円となりました。これは主に、営業債務が190百万円増加した一方で、その他の流動負債が391百万円及び未払法人所得税が210百万円減少したことによるものであります。

当四半期の資本は、前連結会計年度末に比べて200百万円増加し、15,424百万円となりました。これは主に、配当金の支払により410百万円減少した一方で、四半期利益を753百万円計上したことによるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当四半期における「現金及び現金同等物」は前連結会計年度に比べて824百万円減少し、14,695百万円となりました。当四半期における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当四半期における営業活動の結果、47百万円の資金流出（前年同四半期は333百万円の資金流出）となりました。これは主に、継続事業からの税引前四半期利益1,221百万円の計上及び法人所得税の還付450百万円があった一方で、運転資本745百万円の減少及び法人所得税の支払い831百万円が発生したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当四半期における投資活動の結果、180百万円の資金流出（前年同四半期は1,604百万円の資金流出）となりました。これは主に、関連会社株式の売却による収入372百万円があった一方で、有価証券の取得による資金流出372百万円及び有形固定資産取得による資金流出280百万円が発生したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当四半期における財務活動の結果、590百万円の資金流出（前年同四半期は1,564百万円の資金流出）となりました。これは主に、配当金の支払い410百万円が発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2018年9月期より、四半期毎に翌四半期までの業績予想を開示する従前の方針から、半期毎の業績予想を開示する方針に変更を行っております。

2018年9月期下期（4-9月）では、ネットマーケティング事業、メディアコンテンツ事業ともに前期比で増収を見込む一方で、拡大するインターネット広告市場における競争力強化に向けた投資を実行することにより減益を予想しております。人材の採用が順調に推移する中、質・規模の両面における組織基盤を充実させることで、来期以降の中期的な利益拡大につなげてまいります。

2018年9月期通期業績予想(2017年10月1日～2018年9月30日)

収益	16,376百万円
Non-GAAP営業利益	1,718百万円
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,204百万円

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	15,519,366	14,694,962
営業債権	9,988,192	10,504,143
棚卸資産	9,794	17,590
その他の金融資産	209,252	148,073
その他の流動資産	545,809	279,024
流動資産合計	26,272,413	25,643,792
非流動資産		
有形固定資産	333,676	580,507
のれん	1,817,632	1,712,989
無形資産	169,005	196,476
持分法で会計処理されている投資	1,943,739	1,722,635
その他の金融資産	1,657,054	2,046,114
その他の非流動資産	7,024	3,458
繰延税金資産	728,192	723,766
非流動資産合計	6,656,322	6,985,945
資産合計	32,928,735	32,629,737

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	9,349,155	9,538,933
その他の金融負債	1,931,391	1,704,177
未払法人所得税	309,710	99,893
その他の流動負債	1,796,410	1,405,274
流動負債合計	13,386,666	12,748,277
非流動負債		
その他の金融負債	4,018,845	4,199,666
引当金	82,821	109,444
その他の非流動負債	1,140	8,587
繰延税金負債	215,731	139,862
非流動負債合計	4,318,537	4,457,559
負債合計	17,705,203	17,205,836
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	2,113,611	2,120,484
資本剰余金	3,647,815	3,657,134
自己株式	△1,691,818	△1,691,818
利益剰余金	11,018,315	11,361,952
その他の資本の構成要素	84,355	△82,072
親会社の所有者に帰属する 持分合計	15,172,278	15,365,680
非支配持分	51,254	58,221
資本合計	15,223,532	15,423,901
負債及び資本合計	32,928,735	32,629,737

(2) 要約四半期連結純損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
継続事業		
収益	7,308,848	7,975,530
売上原価	747,930	1,234,206
売上総利益	6,560,918	6,741,324
販売費及び一般管理費	5,219,056	5,734,907
その他の収益	8,536	14,285
その他の費用	78,835	11,644
営業利益	1,271,563	1,009,058
金融収益	2,965	113,856
金融費用	96,865	54,572
持分法による投資利益(△は損失)	57,275	152,770
税引前四半期利益	1,234,938	1,221,112
法人所得税費用	379,337	467,956
継続事業からの四半期利益	855,601	753,156
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	883,123	—
四半期利益	1,738,724	753,156
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,743,063	753,540
非支配持分	△4,339	△384
合計	1,738,724	753,156
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	6.63	5.96
非継続事業	6.98	—
合計	13.61	5.96
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		
継続事業	6.59	5.94
非継続事業	6.94	—
合計	13.53	5.94
売上高	37,268,217	37,642,717

営業利益からNon-GAAP営業利益への調整表

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
営業利益	1,271,563	1,009,058
その他の収益	952	—
その他の費用	72,470	8,981
Non-GAAP営業利益	1,343,081	1,018,039

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
四半期利益	1,738,724	753,156
その他の包括利益		
純損益に組替調整されない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	216,662	△16,790
純損益に組替調整される可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	243,890	△111,864
キャッシュ・フロー・ヘッジ	5,511	△23,838
持分法適用会社に対する持分相当額	1,348	△449
その他の包括利益合計(税引後)	467,411	△152,941
四半期包括利益合計	2,206,135	600,215
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,192,281	600,598
非支配持分	13,854	△383
四半期包括利益	2,206,135	600,215

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2016年10月1日時点の残高	2,085,004	3,617,269	△485,685	8,815,259	123,875	14,155,722	890,147	15,045,869
四半期利益	—	—	—	1,743,063	—	1,743,063	△4,339	1,738,724
その他の包括利益	—	—	—	—	449,218	449,218	18,193	467,411
四半期包括利益合計	—	—	—	1,743,063	449,218	2,192,281	13,854	2,206,135
新株発行	12,660	12,659	—	—	△24,685	634	—	634
剰余金の配当	—	—	—	△415,096	—	△415,096	—	△415,096
自己株式の取得及び処分	—	—	△1,206,133	—	—	△1,206,133	—	△1,206,133
支配喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
支配喪失を伴う子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	△2,873	△2,873	△638,394	△641,267
その他	—	10,131	—	404,292	△384,693	29,730	△881	28,849
所有者との取引額等合計	12,660	22,790	△1,206,133	△10,804	△412,251	△1,593,738	△639,275	△2,233,013
2017年3月31日時点の残高	2,097,664	3,640,059	△1,691,818	10,547,518	160,842	14,754,265	264,726	15,018,991

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2017年10月1日時点の残高	2,113,611	3,647,815	△1,691,818	11,018,315	84,355	15,172,278	51,254	15,223,532
四半期利益	—	—	—	753,540	—	753,540	△384	753,156
その他の包括利益	—	—	—	—	△152,942	△152,942	1	△152,941
四半期包括利益合計	—	—	—	753,540	△152,942	600,598	△383	600,215
新株発行	6,873	6,875	—	—	△13,485	263	—	263
剰余金の配当	—	—	—	△409,904	—	△409,904	—	△409,904
自己株式の取得及び処分	—	—	—	—	—	—	—	—
支配喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	2,444	—	—	—	2,444	7,483	9,927
支配喪失を伴う子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	1	—	1	△133	△132
所有者との取引額等合計	6,873	9,319	—	△409,903	△13,485	△407,196	7,350	△399,846
2018年3月31日時点の残高	2,120,484	3,657,134	△1,691,818	11,361,952	△82,072	15,365,680	58,221	15,423,901

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前四半期利益	1,234,938	1,221,112
非継続事業からの税引前四半期利益	1,285,046	—
調整項目：		
減価償却費及び償却費	107,487	115,260
受取利息及び受取配当金	△2,965	△1,624
支払利息	7,949	16,618
持分法による投資損益(△は益)	△57,275	△152,770
支配喪失に関連する損益(△は益)	△1,355,462	—
その他	74,460	△104,565
運転資本の増減：		
営業債権の増減額(△は増加)	185,403	△515,951
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,440	△7,796
営業債務の増減額(△は減少)	△346,812	189,778
その他	28,937	△411,448
小計	1,153,266	348,614
利息及び配当金の受取額	2,965	1,624
利息の支払額	△7,915	△15,777
法人所得税の還付額	—	449,817
法人所得税の支払額	△1,481,287	△830,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	△332,971	△46,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	640,631	—
有価証券の取得による支出	△154,960	△372,439
有形固定資産の取得による支出	△110,088	△280,040
無形資産の取得による支出	△12,977	△83,762
支配喪失を伴う子会社株式の売却による 支出(処分された子会社の現金控除後)	△585,149	—
支配獲得を伴う子会社株式の取得による 支出(取得された子会社の現金控除後)	△1,374,449	—
関連会社株式の売却による収入	—	371,512
その他	△6,960	184,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,603,952	△180,221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	143,580	41,665
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△86,078	△2,233,334
配当金の支払額	△415,096	△409,904
支配喪失を伴わない子会社に対する 所有者持分の変動による収入	—	11,018
非支配持分への配当金の支払額	△880	△130
自己株式の取得による支出	△1,206,133	—
その他	634	262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,563,973	△590,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,809	△7,222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,412,087	△824,404
現金及び現金同等物の期首残高	15,480,970	15,519,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,068,883	14,694,962

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

①継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

②会計方針の変更

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、以下の基準書及び解釈指針を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した重要な会計方針と同一であります。また当社グループが、当該基準書及び解釈指針を適用したことによる、当要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針		強制適用年度 (以降開始年度)	当社グループ 適用時期	概要
IAS第7号	キャッシュ・フロー 計算書	2017年1月1日	2018年9月期	財務諸表利用者が財務活動から生じる負債の変動を評価できるよう追加的な開示を求めています。

③セグメント情報

イ. 報告セグメントの概要

当社グループは、当社を持株会社とし、当社の子会社（又はそのグループ）を事業単位とする持株会社体制を採用しております。収益獲得に関する直接的な活動は、専ら当社の子会社（又はそのグループ）から構成される事業単位によって行われます。

当社グループの報告セグメントは、事業単位の中から、分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に、各事業セグメントの経済的特徴の類似性及び量的重要性等を考慮し、当社グループの事業活動及び事業を行う経済環境の性質や財務的な影響を財務諸表利用者が適切に評価できるよう、「ネットマーケティング事業」及び「メディアコンテンツ事業」の2つの報告セグメントに集約・区分して開示しております。

i. ネットマーケティング事業

インターネット広告の販売、クラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等のマーケティングプラットフォームの運営等、企業向けのインターネットマーケティング支援全般の事業を営む単一の事業セグメントから構成されています。

ii. メディアコンテンツ事業

マンガコンテンツ事業、採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム事業、医療プラットフォーム事業等、複数の事業セグメントから構成されています。メディアコンテンツ事業には、将来の収益獲得に向けた投資が先行しているため収益獲得に至っていない創業直後の事業単位を含んでおり、このような事業単位については、最高経営意思決定者は、将来の収益を通じて投資コストを回収できるというリスク及び経済価値を前提に、経営資源の配分の決定及び業績の評価を行っております。

ロ. 報告セグメントの損益の測定に関する事項

セグメント利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整したNon-GAAP営業利益を使用しております。

なお、当社グループは、全ての取引について総額により表示した収益を「売上高」として任意開示しております。売上高は、IFRSに準拠した開示ではありませんが、経営者は当該情報が財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、連結純損益計算書及びセグメント情報に参考情報として任意で開示しております。

報告セグメント間の取引における価格は、外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

(セグメント利益又は損失の算定方法の変更)

当第2四半期連結累計期間より、各報告セグメントにおける経営の実態をより適切に反映するため、各報告セグメントに配賦していた持株会社運営に係る費用は、各報告セグメントに配賦しない方法に変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間についても修正再表示しております。なお、これによる要約四半期連結財務諸表への影響はありません。

ハ. 報告セグメントの損益に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2016年10月1日至2017年3月31日)

(単位:千円)

	ネット マーケティング	メディア コンテンツ	合計	調整額 (注)2	連結
セグメント収益	6,955,364	494,585	7,449,949	△141,101	7,308,848
セグメント利益又は損失 (△は損失)(注)1	3,036,970	△753,519	2,283,451	△940,370	1,343,081
セグメント売上高	37,341,399	494,585	37,835,984	△567,767	37,268,217

(注)1 セグメント利益は、Non-GAAP営業利益を使用しております。

2 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年3月31日)

(単位:千円)

	ネット マーケティング	メディア コンテンツ	合計	調整額 (注)2	連結
セグメント収益	7,499,768	628,759	8,128,527	△152,997	7,975,530
セグメント利益又は損失 (△は損失)(注)1	2,652,096	△608,229	2,043,867	△1,025,828	1,018,039
セグメント売上高	37,667,944	628,759	38,296,703	△653,986	37,642,717

(注)1 セグメント利益は、Non-GAAP営業利益を使用しております。

2 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整表

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)
セグメント利益	1,343,081	1,018,039
その他の損益(純額)	△71,518	△8,981
金融損益(純額)	△93,900	59,284
持分法による投資利益	57,275	152,770
税引前四半期利益	<u>1,234,938</u>	<u>1,221,112</u>